帆いっぱいに、夢をはらんで。
日本海信用金庫

Nihonkai
Shinkin Bank

日本海信用金庫の地域密着型金融について

平成28年3月

帆いっぱいに、夢をはらんで。
日本海信用金庫

目次

1. 地域密着型金融の推進に関する基本方針 ・・・ P.2

2. お取引先企業に対するコンサルティング（相談を受け指導を行う）機能の発揮 ・・・ P.3

3. 最適なソリューション（課題解決策）の提案 ・・・ P.5

4. 地域の面的再生への積極的な参画 ・・・ P.10

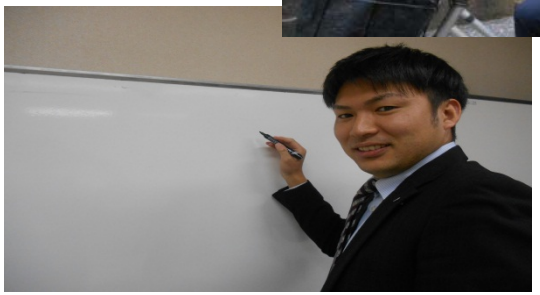
5. 地域経済活性化に向けた取り組み ・・・ P.13

帆いっぱいに、夢をはらんで。
日本海信用金庫

地域密着型金融の推進

当金庫の地域密着型金融の推進に関する基本的な考え方は、自分たちが生まれ育った地域に対し、その責任金融機関として地域に対する永続的な使命を果たすことであり、下記の基本的な取り組み方針を掲げて積極的に推進してまいります。

①「日本海信用金庫ブランド」確立のため、顧客満足度の向上、社会的責任への対応、法令遵守の徹底を図り、お取引先企業に対するコンサルティング機能の発揮に努めます。②「絆の経営」実践のために、地域再生と活性化への積極的な支援、地域課題解決への協力、地域産業再生への支援、地域の面的再生へ積極的に参画することに努めます。③地域経済発展に寄与するため、地域やお客様に対して積極的かつ継続的に情報発信することに努めます。④リスク管理態勢の強化とガバナンス（企業統治）の向上に努めます。



※「日本海信用金庫ブランド」の確立とは
- 顧客満足度（ＣＳ）の向上
- 社会的責任（ＣＳＲ）への対応
- 法令等遵守（コンプライアンス）の徹底

日常的・継続的な関係強化と経営の目標や課題の把握・分析

○コンサルティング機能の発揮に向けた態勢強化

起業・成長・事業承継等のビジネス段階毎の経営課題・相談ニーズに応じて、きめ細かく対応できる経営支援体制の再構築が必要となっています。「中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業」において支援機関となっており、専門家の派遣に取り組んでいます。

地域建設産業活性化支援事業に関するパートナー協定を平成２７年４月に締結しました。業種を建設業に特定、経営上の課題を抱える建設企業に対して建設業に精通した専門家を派遣してまいります。

地域全体における中小企業のお客様に対する支援機能の質を更に高め、支援の輪が一層広がる支援ネットワークを構築していくため、平成24年11月、中小企業経営力強化支援法における認定経営革新等支援機関となりました。支援機関として更に経営改善計画の策定支援に関与しています。

事業再生ファンド「山陰中小企業支援3号投資事業有限責任組合」を独立行政法人中小企業基盤整備機構、島根・鳥取両県内の地域金融機関、島根県信用保証協会及び鳥取県信用保証協会と共同で平成25年1月設立。また、平成25年3月に中小企業成長支援ファンド「島根中小企業未来挑戦投資事業有限責任組合」を独立行政法人中小企業基盤整備機構、地域金融機関、島根県と共同で設立いたしました。

日常的・継続的な関係強化と経営の目標や課題の把握・分析

お取引先企業の技術力や販売力、成長性を的確に評価する「目利き力」の更なる向上を目指してまいります。

外部講師を招いての勉強会および融資部主催の自主勉強会の取り組み

平成27年4月1日から平成28年2月29日までの実績	
信用保証付融資	28名受講
ＪＩＣＣ信用情報の見方	35名受講
農業者向け融資の信用補完スキーム	31名受講
対話力の強化	22名受講
融資部主催自主勉強会（5月～9月）	159名受講（累計）

研修派遣の取り組み

平成27年4月1日から平成28年2月29日までの実績	
融資渉外実践講座	1名受講
企業再生支援講座	1名受講
事業所融資開拓講座	1名受講
目利き研修講座	1名受講

帆いっぱいに、夢をはらんで。
日本海信用金庫

創業・新事業開拓を目指すお取引先企業への取り組み

積極的に起業、第二創業を支援していくことは、地域の活性化のために重要な業務と位置付けており、創業・新事業立ち上げ時の資金需要に対する支援を行っています。

平成２４年１０月に「創業支援資金」のプロパー資金の取り扱いを開始、加えて、従来からの保証協会付「創業者支援資金」を活用しております。

平成27年4月1日から平成27年12月31日までの実績

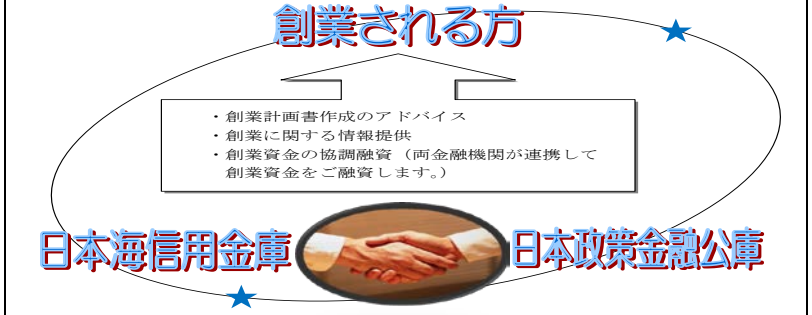
「創業支援資金プロパー」
1件・3,000千円

「創業者支援資金等協会」
13件・78,400千円

当金庫と日本政策金融公庫浜田支店（国民生活事業）は、創業支援での連携を平成２５年１１月スタートしました。

日本海信用金庫と日本公庫浜田支店が、創業分野での連携をスタート！
～　意欲ある創業者を応援します　～

このたび、日本海信用金庫と日本政策金融公庫浜田支店（国民生活事業）は、創業支援での連携をスタートしました。
この取組みは、創業期（創業前～創業直後）にある皆さまに対して、両機関の特性を活かしつつ、相互にノウハウ等を補完、共有することによって、よりクオリティーの高い金融サポート提供するものです。
今後も、両機関は、地域経済の活性化に向けて、連携の充実に取組んで参ります。



＜ご融資例＞

総投資額	＝	自己資金	＋	日本海信金	＋	日本公庫
８００万円		３００万円		３００万円		２００万円

～お問い合わせ・ご相談は～

日　本　海　信　用　金　庫　　日本政策金融公庫浜田支店

（お問い合わせ先は、裏面をご覧ください。）

帆いっぱいに、夢をはらんで。
日本海信用金庫

創業・新事業開拓を目指すお取引先企業への取り組み

雇用機会の創出と人材発掘、定住施策を図るため、NPO法人「てごねっと石見」を運営主体として、江津市、江津商工会議所、桜江町商工会と連携して新規創業支援を行っております。江津市ビジネスプランコンテンスト「GO－CON２０１５」の最終審査会は平成２７年１２月１３日に行われ、当日は運営に関わり、当庫相談役が審査員長もつとめました。

帆いっぱいに、夢をはらんで。
日本海信用金庫

成長段階における更なる飛躍が見込まれるお取引先企業への取り組み

担保・保証に過度に依存することなくタイムリーに必要な事業資金を提供、資金繰りの円滑化に寄与することを目的にプロパー融資商品「スクラムローン」の取り扱いを平成27年4月より開始いたしました。

平成27年4月20日から平成27年12月31日までの実績

31件・209百万円

経営改善や事業再生等が必要なお取引先企業への取り組み

お取引先企業の財務内容等の経営状況の分析や事業計画の策定支援・実行支援を行うため、計画策定支援に取り組んでおります。

平成２７年４月１日から平成２７年12月３１日までの計画策定件数

創業計画・4件

事業計画・2件

経営改善計画・17件

平成27年度は経営支援先として、営業店において20先、融資部事業サポート課において10先の合計30先を選定しております。

帆いっぱいに、夢をはらんで。
日本海信用金庫

事業承継が必要なお取引先企業への取り組み

日本海信用金庫は、後継経営者にきちんとバトン渡しをするための環境を作ることが地域再生、ひいては地域活性化に繋がると考え、平成16年11月18日に後継経営者育成塾「せがれ塾」を発足しました。

経営者には企業を永続させ、次世代へと事業資産を引き継ぐことが求められており、そのために必要な正しい経営の知識・見識を身につける場所と機会を提供し、また、当金庫と後継経営者の関係構築、金庫職員の経営相談能力の向上を図っていこうとするものです。

平成２７年４月１日から平成２７年１２月３１日までの活動内容

平成２７年４月　　第6期生　卒業発表会

平成２７年６月　　第７期生　発会式

平成２７年8月　　第７期生　第１回セミナー

平成２７年9月　　第７期生　第2回セミナー

平成２７年１１月　第７期生　第3回セミナー

平成２７年１２月　第７期生　第４回セミナー

帆いっぱいに、夢をはらんで。
日本海信用金庫

地域行事参加への取り組み

文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

●浜田市駅伝競走大会

●江の川祭り

●萩・石見空港マラソン

●国府海岸クリーン作戦

帆いっぱいに、夢をはらんで。
日本海信用金庫

地域行事参加への取り組み

● 雪合戦

●企業・職域対抗フットサル交流会

●石見子供神楽「どんちっち祭り」

●マリン大橋リレーマラソン

帆いっぱいに、夢をはらんで。
日本海信用金庫

日本海しんきんパートナー協定の取り組み

お取引先企業にお勤めの方が定着され、健康で文化的な生活を営み、生活の安定、向上を図ることを願って平成２６年１１月「日本海しんきんパートナー協定」の取扱いを開始しました。

平成２７年１２月末現在　パートナー企業５４４社

地方創生への取り組み

全国一の塩干カレイ生産量を誇るカレイをもっと全国に広めることを目的として、漁業や商工などの地元団体と浜田市とでつくる実行委員の方々と「ミズカレイを使った家庭料理コンテスト」を平成２８年１月１７日開催しました。

帆いっぱいに、夢をはらんで。
日本海信用金庫

地方創生への取り組み

浜田市と相互の情報を有効に利用し、連携して業務協力することにより、浜田市の産業振興等を図ることを目的として、平成27年12月8日に浜田市と産業振興等に関する包括的業務協力協定を締結しました。